

発行人 関西定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町二十一 東興ビル4F
一九八四年 八月 二〇日 第3種郵便物承認 毎月〇十二三四五六七八の日発行 領価百円



特定非営利活動法人

とことこニュース

43

挨拶

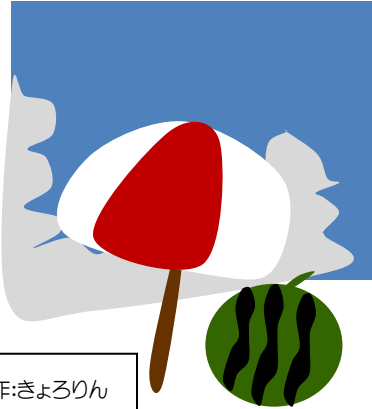
とことこ理事長 中山 君江

暑い日が続いておりますが、皆さんお元気ですか。とことこ理事長の中山です。

いよいよ平成二十八年度に宝塚市で『障害者差別解消条例』が施行されるそうです。

形ばかりではなく中身のある条例にさせていただきたく思いますが、我々障害者もしてもらうのではなく、共に協力して自分たちの生活を守っていかなければならないと思います。みんなで頑張りましょう。

何人かの車イス障害者に聞いたのですが、重度の障害者が交



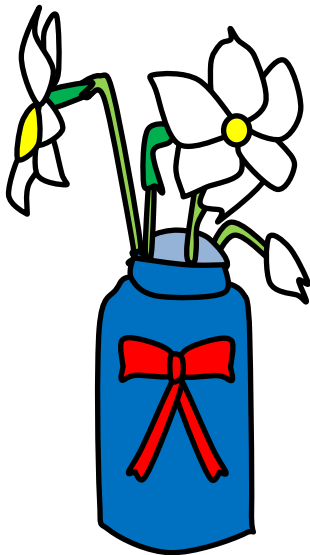
絵作:きよろりん

通事故にあったとき、怪我をさせられているのに、相手の保険会社の人が、「まあもともと障害で動かないのだから、ちょっと怪我されても同じでしょう」と言われたことがあります。
不自由な体に動いていた手足が怪我させられると、何もできません。

健常者からみればちょっと動かせない部分が増えるだけと思っているのでしょうけど、不自由な手足をカバーして動かしにくい手足で一生懸命に生活しています。

その手足に包帯が巻かれたら、痛い以上に辛いものです。
心ない言葉に怒りを感じます。

残っている機能がどれだけ大切か分かってもらいたいものです。



絵作:きよろりん

障害者差別解消条例についてご意見を頂きました。
10月9日の市庁舎から命をかけたという苦い思いが湧いて

『障害者差別解消条例制定に向けて』

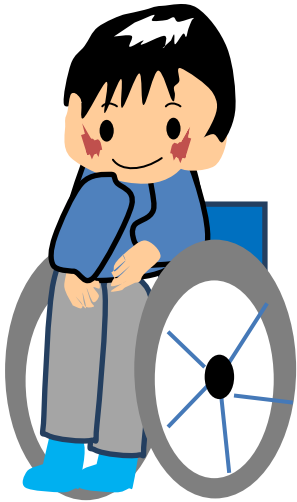
障害者情報クラブ代表 井上 きよし

日本各地で、地震や噴火が起り、安保法制を巡って国会は紛糾するなど、日本列島は大きな変動の時期を迎えているのかもしれない。

皆様、暑い日が続いていますが、お変わりありませんか？

そして、二〇一四年一月、日本は国連の権利条約に二四一カ国目に批准しましたが、それに先駆けて、また批准後も全国各地で障害者差別解消に関する条例が策定され始めました。

宝塚市でも、中川智子市長が、二〇一五年三月議会での所信表明演説で、障害者差別解消条例を作ることを約束しました。このことを受けて、今、宝塚市では制定の準備が進められようとしています。



絵作:きよりん

条例をつくるにあたり、身体的精神発達難病など様々な障害者市民の参画が必要であらう。

障害者権利条約でも

「Concise account of Without us」

私たちが抜きにして私たちが決めるべきではない」

が基本的な理念でした。

条例は決して差別をした人々を罰する目的のものではありません。

障害のある人もない人も共に安心して暮らせる街を目指します。

そのためには「合理的配慮」が必要になってくるのですが、この合理的配慮について「Dジャナル」では以下のような例が挙げられています。

もしも、ホームが二階にある駅があり、そこに階段がつけられていなければ、スライダーマン以外、電車に乗ることができません。また、エレベーターがないと車いすの人は乗ることができません。合理的配慮は必ずしも障害のある人のためにだけされるものではないのです。

「このように社会では様々な配慮が存在しています。

障害のある人がない人と同じ教育を受け、同じ暮らしができるように、宝塚市に合った障害者差別解消条例が十分な議論の末に制定され、実行されることを願っています。

私も制定に向けて、皆さんと協力しながら精一杯努力していきたく思います。

市民が主役の制度を』

障害者情報クラブ会員 古谷かおり

宝塚市の様々な福祉制度を有難く利用させて頂いて、私の生活は成り立っているが、それと同時に、障害者の私が一市民としては納得がいかないうころか、憤りに似た感情が溢れることがある。障害者は弱い立場だと感じてしまうのは、時代が逆行しているのではないか？

ここでは個人的に思い切つて、悪い例を書かせて頂く。私は、計七〜八カ所の介護支援の事業所を利用して生活している。その中で困っていることは、事業所内で分裂が起こり、枝分かれをして、事業所が増えていき、それぞれヘルパーの数が少なくて、私のように数カ所に契約しないと、ヘルパーの手が足りない。それでも足りない。それがゆえに、それぞれ事業所と、個性の違うヘルパーがいるのにも関わらず、私と歩調などが合わなくても配慮してもらえないことが多い。ある。事業所内の人間関係に左右されて、利用者がしんどい思いをしていくのも、理解頂きたい。

私のように、人の介助を受けながら生きていく者は、毎日のように入れ替わりで自宅に人が入って来て一対二で身体を預けるのだから、普通に考えても勇気の要ることなのだ。全くやる気がなかったり、身の危険を感じさせるヘルパーは一番問題だ。そんな時は直接の話し

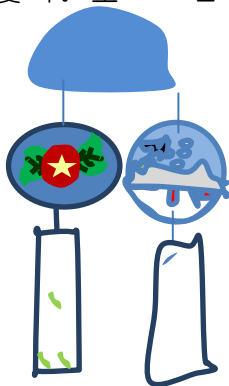
合いから始まり、相談機関にも入ってもらい長期間かけて何とか解決しないものかと努力もしているつもりだが、このように我慢をしたり困っている時に、市の行政が親身になって当事者と直接的に対応してほしいと心から思う。

今、解決したい問題は、ヘルパーの入る時間帯をきつく制限されること。一年に二〜三回コンサートに行くのもダメだと言われているような事になる。

障害者も十人十色、障害の種類も、性格も考え方も趣味も、いろいろと違いがある。制度はルールで縛りつけるものではなく、臨機応変に個人個人の意志が尊重されるものであってほしい。誰もがいつ障害者にならないとも限らないし、高齢者には必ずなる。制度を作っていくのは当事者とともに、いつかは自分も同じ立場になることを理解している人間であってほしい。

内から見ても外から見ても、宝塚市の制度は良い制度と思われ続けるよう、宝塚市独自の制度を！ 障害者権利条例制定「・障害者差別解消法」が強い味方になってくれることを期待している。本当に障害者の権利を守られるように、がんばりな

なってしまわないように、仲間とともに事例を出し合ひ、動いていきたいと思います。



絵作:きよろりん

当事者 障害者の家族の方から貴重なご意見を頂きました。大変な思いをされているのが切々と伝わってきます。

車椅子を利用の匿名さん

☆阪急逆瀬川駅周辺に車いす利用者がリフトタクシーからの乗降スペースが確保されておらず、タクシー乗り場がバス停が空いている時でないこと、乗降出来ません。バス停付近の空いているスペースで急いでの乗降で危険です。阪急タクシードライバーやバスのドライバーの邪魔にもなり、トラブルの原因となっています。車椅子の乗降は時間がかかるので、スペースを確保して頂きたいです。

リフトタクシーの乗降には、タクシー自体も車椅子利用者に乗せるため、大きく車の後方からスロープを降ろします。その為乗降の際は長いスペースを必要とします。

☆ヘルパー事業所で、利用者の障害状況などをヘルパーさんに伝える時、例えば高次脳機能障害、身体障害者であればどのような事が出来ないかなど担当ヘルパーさんに研修や用紙を用意して説明をしても聞えたら、助かるという声が多くありました。

見た目では分からない利用者の限られた時間で、一人から自分の障害状態を、その都度ヘルパーさんに伝えきれず、出来るのにな、甘えているのかなどヘルパーさんに誤解される事がある様なので、お互いが気持ち良く過ごす為にも、事業所からも障害の説明協力が

欲しいです。

☆近年、新しく出来たショッピングモールや公共施設は車椅子利用者にとっても、全ての人にも利用しやすい環境に変わってきたと感じます。しかし、まだまだ大都市東京でさえも、エレベーターが無かったり、無人駅であったりと、まだまだバリアがあります。

JRでは、一週間前に事前に連絡をしておかなければならないと友人から聞きました。しかし一週間前に、全ての予定が決めるわけではありませんよね。

障害者も気の向くままに、お出かけ出来る社会になる様、施設整備を整えてもらいたいものです。

☆重度障害者の排便について

重度障害者は身体的に就労ができません、収入が無い。生きていく上で大切な排便をするのに、訪問看護ステーションに依頼をして介助してもらおう。一割負担で週二回の利用をし、月三万円以上かかっています。

排泄だけでこれだけの金額が掛かってしまうと、年金だけの生活の為苦しい。

身体の為にも金銭的な事を気にせず排便がしたい。重度障害者の排便障害はつきものです。見直して欲しいという声が多くありました。



作:松村 行優

障害者児の喜ぶことについて』

障害者児の喜ぶことについて』

私は障害のある我が子と喜んでいる。我が家は母子家庭、男の子ですが、もう二六才になります。

障害者差別解消法の事を聞いて、心のゆびやきを聞いてほしい。正直、障害者差別とは何だろつかなく考える。やはり我が子に障害があると知ったときは、信じられぬ、まさか、まさかの毎日ですね。障害を受けとめるには、親としてとても辛かった。今でこそ笑える事が、どうやって喜んでいるのか悩んで、涙が出るより重かった。我が家の子は、知的障害児。将来はどうなるのか、親としてどう育てようか、その戦いが毎日続き、家の中はきつと暗かった。

でも、ママが強くなければ、明るくなければと決心して、笑顔の息子に支えられて今日の私。今、考えると私は息子のおかげで、明るく強いママになれたような気がします。有難うね、これからも仲良く喜ぶぞうね。

さて、これから私の感じた事、言いたい事を聞いて下さい。

旅行に行くと思う事。小さい時は私と一緒に大浴場に入れるけど、大人になつたので一緒には入れません。家族風呂を予約したら息子を温泉に入れてくれるけど、本当は大浴場に入れてやりたい。旅館に、息子をお風呂に入れてくれる人がいればいいな。父娘家庭も同じ悩みがあると思う。

阪急電車の駅は、おおかたエレベーターがあり助かりますが、JRは、田舎の方で、無人駅があったり、もちろんエレベーターがない駅が

多い。用事があっても人がいない、せめて無人駅は止めて欲しい。

障害者トイレにカギをかけるのはやめて欲しい。カギを開けてもらうのを待つ時間がない時があるので困る。なんで障害者トイレの前に大きな段差があるの？

それから、甘いかもしれないませんが、母と子が二人で喜んでいると、親子で喜らせる施設がないかと夢みます。

私が死んでも、そこで喜らせるように私自身が見届けたい。お互いに年を取ってから、一緒に死ねたらいいなと思う事もある。手をつないで逝く、甘い親かな・・・

息子は、知的障害。自分一人で歩ける。小さい時は、いつも笑顔なので可愛い子と言われました。二十歳まではいいけど、二五歳、三〇歳となれば笑顔が気持ち悪いと敬遠される。小さい時は一人で歩けても、大人になつたら逆に、親やヘルパーが連れて歩かなければいけないのかな？息子の前で子どもが泣いたら息子のせいになるのかな？笑顔の息子は弁解ができない。これも差別かな・・・

大人になれば息子は差別を知るのかな？小さい時は私が私なりに喜らし易いように頑張った。でも、世の中には差別と戦える障害者と戦えない障害者がいる。普通に喜らせるようになったらいいな。

私は、笑顔の息子に助けられてきました。こんな人生も悪くないかな・・・

最後に一言、体が不自由な人が喜らす施設こそ、便利な所に作って欲しいです。

『車椅子マークの駐車場』

匿名さん

車椅子マークの駐車場は入口に近く便利という事だけでなくスペースが広くなっています。

これは、車椅子の人が車に乗り降りする時に、車の横に車椅子をつけるスペースが必要で、普通の駐車場のスペースだと車を出さないときも降りできません。車椅子用のスペースが、空いていないときは片方に車が停まっている所を見つけて降ろしますが、乗る時にそちら側にも車が停まっていると車椅子の人をそこに待たせて車を出し、通路で乗せることになりとても危険です。

駐車場によっては、車椅子スペースにガードマンがいてくれる所もありますがそんな所は少なく、通常は誰でも停めることができる状態です。

また、カラーコーンが置いてある所もありますが、これは一般の方が停めづらいように空いている所も多いですが、私たちにとって一回、車から降りないといけないので不便に感じます。

お願いです。自分で乗り降りできる方、この広いスペースを車椅子の為に空けておいていただけませんか？

ガードマンもカラーコーンもいらなくなっていいいなと思います。

『身障者用のトイレ(みんなのトイレ?)』

車椅子で出掛けて困るのは、トイレ、エレベーター、駐車場で。最近ではほとんどの場所に身障者用トイレやエレベーターが

あってとても便利になりました。お出掛けしやすくなりました。

ところが、困ったことに身障者用トイレが使用中になっていることが多くて困ります。何をやっているのか、若い人が長時間使うことが多いです。トイレのドアに、「みんなのトイレ」とか、「どなたでもご利用ください」とか書いてあったりするので、間違いではないかも知れませんが、長時間占領するのは止めていただきたいです。

身障者用トイレは数が少ないのでトイレに辿り着くまで、我慢していることが多くトイレに着いてもまたガマンということになります。そこしか使えない人がいるんです。分かってください。

先日、ある駅の身障者用トイレのドアに「利用をする時は駅員に鍵を開けてもらってください。」というようなことが書いてあって、近くにいらっしやった清掃の方に開けていただいたのですが、その方がおっしゃるには、「若い人が中でタバコを吸ったりして汚れるからカギをかけています。」と聞きました。

とりあえずここは「みんなのトイレ」ではないようです。素直に「それはいい考え……!」と思いましたが、後で考えると駐車場のカラーコーンと同じで、便利なんだか不便なんだか分からなくなりました。バリアフリー化がどんどん進んで便利になったと思うことは本当に多いです。でも相変わらず困っていることもありませう。

それは以前と違って、周りの人たちが少し配慮して下さると解決する困り事だったりします。

「イスラエルへ行くつもりだ」

ユルサレムパー 十川 一郎

いつもは旅行ガイドブックは買わないけど、今回はちょっと不安で買ってしまった。それに一人では不安もあってパリに住む友達と一緒に行くことに。

パリを出発してイスラエルへ行く前日、彼は仕事で北の方へ行きよった。

まあ仕方ないからユルサレムで待ち合わせる事に。テルアビブに行く飛行機代をケチったからイスタンブールで十一時間の乗り換え時間は長すぎるよな。日本から持って行ったWiFiはフランス国内でしか契約してなかったので持っていかなかった。国際空港やったら無料WiFiがあるのが当たり前やろ。と思っただけ無かった。退屈やった。

ユルサレムに到着。今回はしっかりとホテルも予約しておいた。予約しておいて良かった。ユダヤ教の大きなお祭りがあるらしくてこのホテルも満室やねんて。一件目のホテルは旧市街のど真ん中。

嘆きの壁とかもすぐ近所。窓からは岩のドームが目の前に。我ながらええホテルにしたものだ。

ここで友達と合流してホッとしたよ。



この国は他の国とは全然違った文化と風習やわ。あんまり他の国も知らんけど…レストランではビールを置いてるのにまったく酒屋さんがない。

「ユルサレムの欠点だね」と二人の意見が一致！タクシーもよく使った。ぼったくりタクシーもおった。同じぐらいの距離なのに一〇倍も請求しよる奴がある。一人なら押し切られるかもやけどこっちは二人やし払えへん。

イスラエル最後の日、一日だけテルアビブで泊まった。

世界遺産だけあって綺麗な街でパリみたいな感じ。

ホテルで日本料理店を聞いたなら近所に「わ」と言う店が近くにあって行ってみた。刺身もつまかったし寿司もいけた。オーナーは日本の新潟で七年住んでたと言い、日本語も上手で一品サービスしてくれた。

何でわかって付けたのか聞くと、わくと驚くようにやて。

意味解れへんけど…

スパーにスコッチが売ってない。

ウイスキーを知らない

店員さんやった。

そんな事あるかいなあ？



バリアフリー調査に行ってきました♪

あいえるせんたー逆瀬障害者スタッフ 土井 克哉

五月一九日あいえるせんたー逆瀬のメンバーで、阪急逆瀬川駅周辺にて車椅子で行ける飲食店を探しに行きました。

アピア2の一階にある居酒屋『蓮』に入り調査をしました。

居酒屋『蓮』は中国料理と和食が組み合わせの料理があり、夜は居酒屋で昼は定食をやっているお店です。お昼のランチは、蓮弁当と定食があり、私は一食七六〇円の蓮弁当を食べました。

蓮弁当のお吸い物が熱いので、冷まして持ってきて下さい」と店員さんにお願ひしたら配慮して頂きました。私たちとの対応も自然で嬉しく思いました。

居酒屋『蓮』には、車椅子トイレは、ありませんが居酒屋『蓮』の外の通路に車椅子トイレも近くあります。椅子の移動も自由です。全部で二十人



絵作:宮本 恵子

から四十人の車椅子と介助者が入れれます。新年会にお勧めできるかなと思いました。

【あいうえの】レストランの紹介

あいえるせんたー逆瀬障害者スタッフ 松村 行優

☆インドネパール料理 《スレチャンドラ》 アピア2内一階

この店は、野菜カレーがスパイスが効いていて辛かったです。チキンカレーの方はそれほど辛くなく美味しかったです。特にライスよりナンをチキンカレーにつけて食べたなら非常に美味しかったです。

ナンが、大きくて食べにくかったので店員さんに頼むとカットしてくれました。

店内は、やや狭く車イスが一台か、二台ぐらい入れるスペースです。

私のお勧めは、八〇〇円の日替わりランチセットです。日替わりランチセットはカレー二種類(野菜カレーチキンカレー)サラダ、ナン又はライス、ドリンク(チャイ、ラッシー)です。



ようこそ! 補助犬
Service dog welcome!
身体障害者補助犬法により
盲導犬・介助犬・聴導犬は
同伴できます。ペットは不可。
(このシールは「シンシア基金」で制作しました)

補助犬ステッカー

☆和食店 かい華

アピア2内 一階

今回、バリアフリー調査で食べに行ったアピア2の一階にある和食店です。

店内は、やや狭くて車椅子が入れないと思っただけど、それを見ていた店の人が、椅子を移動させてくれ、入口近くのテーブルで食べられる事が出来ました。

美味しい京風の出汁を使ったきつねうどんと、カニ散らし寿司セットを頼みました。食べやすい様にスプーンとフォークも用意されて親切なおもてなしにびっくりし、食事は美味しかったです。他のメニューには、あんかけうどん、肉うどん、天ぷらうどん、ご飯物は、釜めし、かやくご飯、散らし寿司があります。

☆とんかつ屋 へんかつ花月

アピア2内 一階

以前、ヘルパーさんと買い物で一緒に行った時、初めてアピアへ来て食べに行った店です。

店内は椅子を移動したら、車椅子が一、二百位入れるスペースです。

トシカツを注文し、食べやすい様にカットして下さうと言ったら嫌な顔をせず、親切にカットしてくれました。そのトシカツは、柔らかくて美味しかったです。

☆喫茶店 讃喫茶室

宝塚市野上一五六

あいのんせんだー逆瀬障害者ラタツ 香川 稔

僕は阪急逆瀬川駅から北に十分程の自家焙煎珈琲店の讃喫茶室を調査にいきました。

お店までの道のりは、坂で怖かったです。お店の入り口は、段差があつて最初は入れないと思いましたが、店員さんに車イスでも入れますか?と聞いたら、はい、入れますよ!と言ってくれました。段差の所は、お店の人から手伝いましよつか?と言ってももらって安心して入る事ができました。

入口は、大きい車椅子だと入るのが難しいと思いました。テーブルは少し小さくて、テーブルの脚に車椅子の前輪が当たって入りにくかったです。が、なんとか入れました。

サンドイッチを頼んで僕がいつも食事の時に使っている食器を出してもいい、店員さんにお田に移し替えてもらいました。

サンドイッチも食べやすいように切ってもらいました。

食後、僕の食器を店員さんに洗ってもらって嬉しかったです。

僕のお勧めは、生ハムサンドイッチと一杯五〇〇円の「コーヒ」です。

補助犬シールを貼ってもらい、調査が出来て良かったです。



讃喫茶室

宝塚市障害者スポーツクラブの紹介

宝塚視力障害者協会のサウンドテーブルテニス

球の中に小さな玉が入っていて、ネットの下をくぐって相手と打ち合います。音を聞いて互いに打ち合います。ラケットも音がでるよう
に木のラケットです。アイマスクをして平等にプレー、始めるときは
声をかけて返事があれば開始、動きもけこころ厳しいので、いい運動
になります。

月一回、一週目と三週目の木曜日に宝塚市総合福祉センターの二階で楽しくやっています。

風船バレー

ビーチボールくらいまでふくらませた風船の中に鈴がはいっていて、バレーボールのように打ち合います。風船だけに割れることもありますが、フワリフワリして痛くないので、体に優しい球技です。

吹き矢

☆吹き矢』 仲間募集

年齢身体的ハンデの有無に関わらず誰でも簡単に楽しめるスポーツです。しかも心身の健康UPと一緒にプレイして準備のお手伝いをするボランティアも募集中です。

★練習場所 宝塚市総合福祉センター

☆練習日 第四土曜日十三時～十五時

★グループ名 宝塚吹き矢クラブ

☆会費 年間一〇〇〇円

★問合せ先 宝塚市障害者自立生活支援センター 担当 田坪

☆TEL 〇七九七 - 八六 - 五〇〇一

★FAX 〇七九七 - 八三 - 二七六六

☆事務局メール kei.n@kei.n.skr.jp

★クラブホームページ <http://fuki.yakouyukai.ji.ndo.com>

ポッチャ

アイエルセンター障害者スタッフ 山崎 宗晴

(山崎さんはポッチャを実際にされています)

ポッチャは赤ボール、青ボールが各六個ずつあります。それと
的の白ボール一個(ジャックボール)があります。

最初のの白ボールを投げ、その後には先行の赤ボールの人が投
げます。次に青ボールの人が投げます。

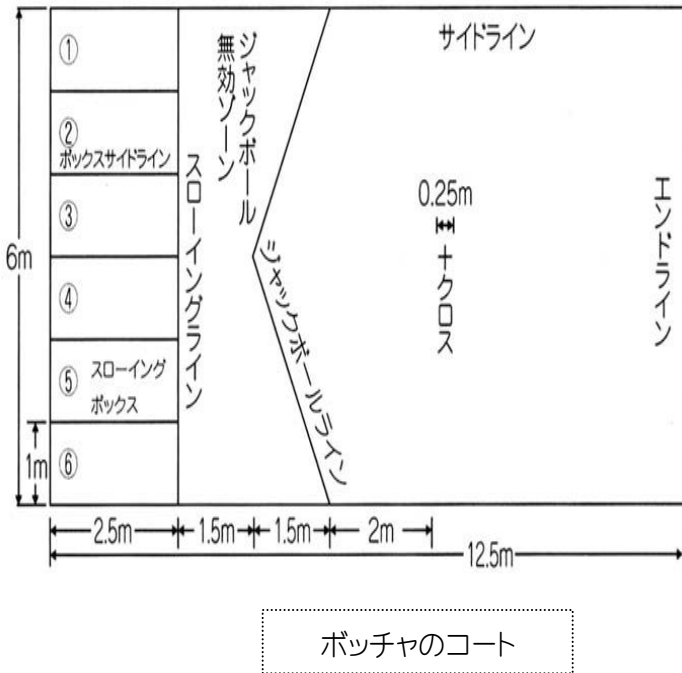
そうしてのの白ボールにどちらが近いか審判が見て判断します。

赤が白に近い時、次の投球は青ボールの人が投げます。

手で投げにくい人はランプスという器具があります。

ランプスを使う人は補助する人が付きます。補助する人は、前
を向けません。

投球する人が補助する人にランプスを動かす指示をします。
 この競技は最初、脳性麻痺の人のために作られた障害者スポーツです。ポッチャはヨーロッパの方で広まりました。



※現在、この四つのグループが宝塚市障害者スポーツクラブです。
 皆さんそれぞれの仲間達と楽しくスポーツで良い汗を流していきましょう。興味がおありでしたら、一緒にいかがでしょうか！

バザー用品ご提供のお願い

【ご家庭の不用になった物をご提供ください】

☆アイエルセンターは、地域で生活する障害者の活動を応援する障害者の作業所です。
 ご提供していただいた品物は、アイエルバザーや各種イベントで販売させていただきます。

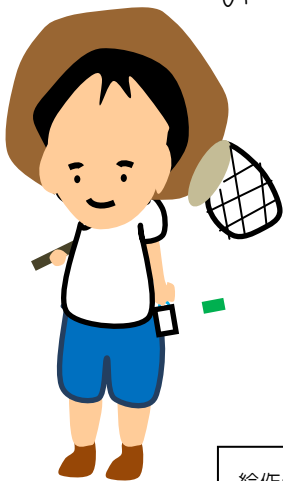
障害者の自立生活支援、障害者の権利擁護などの生活を支える資金作りのために、バザー用品の提供をお願いしております。

☆お気軽に電話かメールでご相談下さい。

宝塚周辺にお住まいの方でしたら、品物を取りに伺います。

また、大変申し訳ございませんが、品物によっては引き取りができません。ご都合がよろしい場合は、その際はご了承ください。

ありがとうございます。



絵作:きよろりん

バザー用品のご寄付のお礼

沢山の皆様方に協力をして頂き、とても多くのバザー用品が集まり、毎日バザーが出来るとなりました。

お陰様を持ちましてアイエルセンター山本、あいえるせんたー逆瀬でのバザー販売が大盛況となっております。

売上も少し伸び、スタッフ一同大変喜んでおります。

これからもいっしょに協力いただいている皆様のお陰です。本当に有難うございます。

今後も引き続きご協力をお願いします。

『いつでもバザー』はじめました

アイエルセンター山本、あいえるせんたー逆瀬の店前にて毎日バザー販売を行っております。

『いつでもバザー』と銘打ってスタッフ職員一同頑張つて販売活動をしております。バザーチラシを作成してスタッフ一同、近所にポスティングをしています。集客を獲得する事にも挑戦しております。日用品古着 食器 雑貨等、色々取り揃えています。皆様の「ご来店をお待ちしております」。

発行人 関西定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町二二 東興ビル4F
一九八四年 八月二〇日 第3種郵便物承認 毎月〇二二三四五六七八の日発行 領価百円

KSKP 特定非営利活動法人とことこニュース

編集人 特定非営利活動法人とことこ

編集部 〒665-0882

兵庫県宝塚市山本南2-6-5

TEL & FAX 0797-82-2233

E-MAIL sjcil@hotmail.co.jp

【アイエルセンターへのご寄付の方は下記に振込をお願いします】

池田銀行 山本支店 普通 28004

特定非営利活動法人 とことこ 理事長 中山君江